

# H26.11.27 設楽ダム魚類検討会 議事概要

○日 時：平成26年11月27日（木） 13時30分～16時30分

○議事概要：

表 H26.11.27 設楽ダム魚類検討会の議事概要

議事項目	議事内容	報告事項	委員の主な意見	意見に対する回答
1.魚類検討会の経緯	・魚類検討会の経緯について	・これまでのネコギギ保全検討の流れを説明した。	・ネコギギの保全検討と事業の進捗の関連性を明確にしてほしい。	・保全と事業の関連性が見える整理を行っていく。
2.飼育繁殖状況	・今年度の繁殖状況(人工授精含む)について	・屋外の粗放的飼育における繁殖結果について報告した。	・今年度得た情報の正確性が不明である。今あるデータを再整理することで、産卵日や、成長の状況、繁殖環境の状況の精度向上が可能と思われる。基盤となるので重要な作業である。	・映像やデータの再確認を行い、詳細を整理する。 ・今後は、定点カメラの設置などの観察方法を検討していく。
	・今後の飼育繁殖について	・今後の飼育繁殖計画について提案した。	・概ね了解する。 ・新しい飼育施設については、施設の拡充に加え、飼育員の確保も重要な観点である。	・各施設の重点項目の整理や、適切な人員配置に努める。 ・次年度の繁殖計画について次回検討会で示していく。
3.生息状況モニタリング調査結果	・今年度のモニタリング調査結果について	・昨年度、土砂崩落によってネコギギ生息個体が増加した淵で今年は減少した。また、当歳魚の確認が少なかった。 ・ギギ駆除の効果が確認できた。	・土砂崩落した淵の環境はどう変わったのか。その環境変化と個体数は連動しているか。 ・ギギの生息状況はどうなっているか。ギギの駆除効果はあるか。	・土砂崩落直後と比較すると、出水で礫が流され間隙が減っており連動していると思われる。 ・ギギの駆除を行っている淵では、ギギの確認数は少なくなっており、駆除効果はあると考えている。
4.放流実験	・放流実験結果及び環境改善について	・放流個体が継続して確認されていることを報告した。 ・保全対策工によりポテンシャルの向上が確認できた。	・経過について了解した。引き続き分析を進めてほしい。 ・複数の環境改善を実施していることから、今後もそれぞれの経過を確認してほしい。	・設置場所の違いについてモニタリングすることを当初から計画しており、今後も、その経過観察を継続していく。
5.次期放流実験	・今後の放流実験計画について	・支川等における放流実験計画について、環境改善手法も含めて説明した。	・環境改善した箇所は、その形状をどの程度維持できるのか。自然の営力を想定した動的安定性を保持できるような検討すること。	・シミュレーションによって、出水時も間隙が維持されるような場所を選定している。また、動的安定性の保持についても考慮していく。
			・支川の放流実験は重要であるから進めてよいが、実験淵としての条件の他に、移植場所としても必要な、長期的なメタ個体群構造を維持できる環境であることを考慮すべきである。	・将来的な移植箇所としては、本川のダム下流部も含めて、存続性の観点からも検討していきたい。
			・放流個体は、遺伝的な多様性の維持や、在来個体への影響を考慮して設定すること。	・追加放流などの対策を検討して、放流計画を作成する。
6.繁殖場実験	・今年度の繁殖場実験結果について	・繁殖ユニットの利用状況について報告した。 ・自然間隙によるネコギギの繁殖環境条件について整理し、今後の環境整備に反映していくことを報告した。	・自然間隙の繁殖データは蓄積されたが、繁殖ユニットの実験は、データ数が少ないため、確認事例数を蓄積する意味でも継続してはどうか。また、データの精度の差異を把握しやすいように整理すること。	・繁殖場ユニット実験は次年度も継続していく。また、ご指摘を踏まえ整理していく。

議事項目	議事内容	報告事項	委員の主な意見	意見に対する回答
7.下流河川環境の予測評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 広域的な予測評価の計画案について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ダム事業の影響に伴って変化する環境要因の予測案を提案し、代替措置の効果を定量的に示す手法を説明した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保全措置としての河床の空隙の整備のためには、局所的な話にとどまらず、出水による攪乱と個体群の変動等を関連させて評価するべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 攪乱による変動を加味して長期的に存続可能なモデルを検討していく。</li> </ul>
8.転流工区間のネコギギ保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 転流工区間のネコギギの対応について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• これまでの検討状況や関連技術の成果について説明し、転流工区間の採捕の考え方を示した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 特になし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 特になし</li> </ul>